

島根労働局発表

平成29年6月2日

島根労働局職業安定部職業対策課

担 職業対策課長 米原 幸男

障害者雇用担当官 沖田 博司

当 TEL 0852-20-7022

ハローワークを通じた島根県内の障害者の就職件数が過去最高を更新 － 平成28年度障害者の職業紹介状況等 －

島根労働局（局長 浅野 茂充（あさの しげみつ））は、平成28年度の障害者の職業紹介状況をまとめましたので、公表します。

ハローワークを通じた島根県内の障害者の就職件数は、過去最高であった平成27年度の876件を上回る941件（7.4%増）となり、平成17年度以降12年連続で過去最高を更新しました。

就職率（新規求職申込件数に対する就職件数の割合）は67.2%で、全国平均の48.6%を大幅に上回り、都道府県別では全国第3位となりました。

ポ イ ン ト

- 新規求職申込件数は1,400件で、対前年度比0.3%（4件）の増（前年度1,396件）。就職件数は941件で、対前年度比7.4%（65件）の増（前年度876件）。

	新規求職申込件数				就職件数			
	28年度	27年度	対前年度	前年度比	28年度	27年度	対前年度	前年度比
身体障害者	289件	344件	55件減	16.0%減	188件	191件	3件減	1.6%減
知的障害者	291件	288件	3件増	1.0%増	197件	183件	14件増	7.7%増
精神障害者	712件	649件	63件増	9.7%増	486件	431件	55件増	12.8%増
その他の障害者※	108件	115件	7件減	6.1%減	70件	71件	1件減	1.4%減
合 計	1,400件	1,396件	4件増	0.3%増	941件	876件	65件増	7.4%増

- 就職状況を産業別にみると、「医療、福祉」235件、「卸売業、小売業」175件、「製造業」153件が多くなっている。

- 就職状況を職業別にみると、「運搬・清掃・包装等の職業」236件、「サービスの職業」186件、「生産工程の職業」152件が多くなっている。

※ 「その他の障害者」とは、発達障害者、難治性疾患患者、高次脳機能障害者等である。

平成 28 年度障害者職業紹介状況

島根労働局

1 求職申込件数

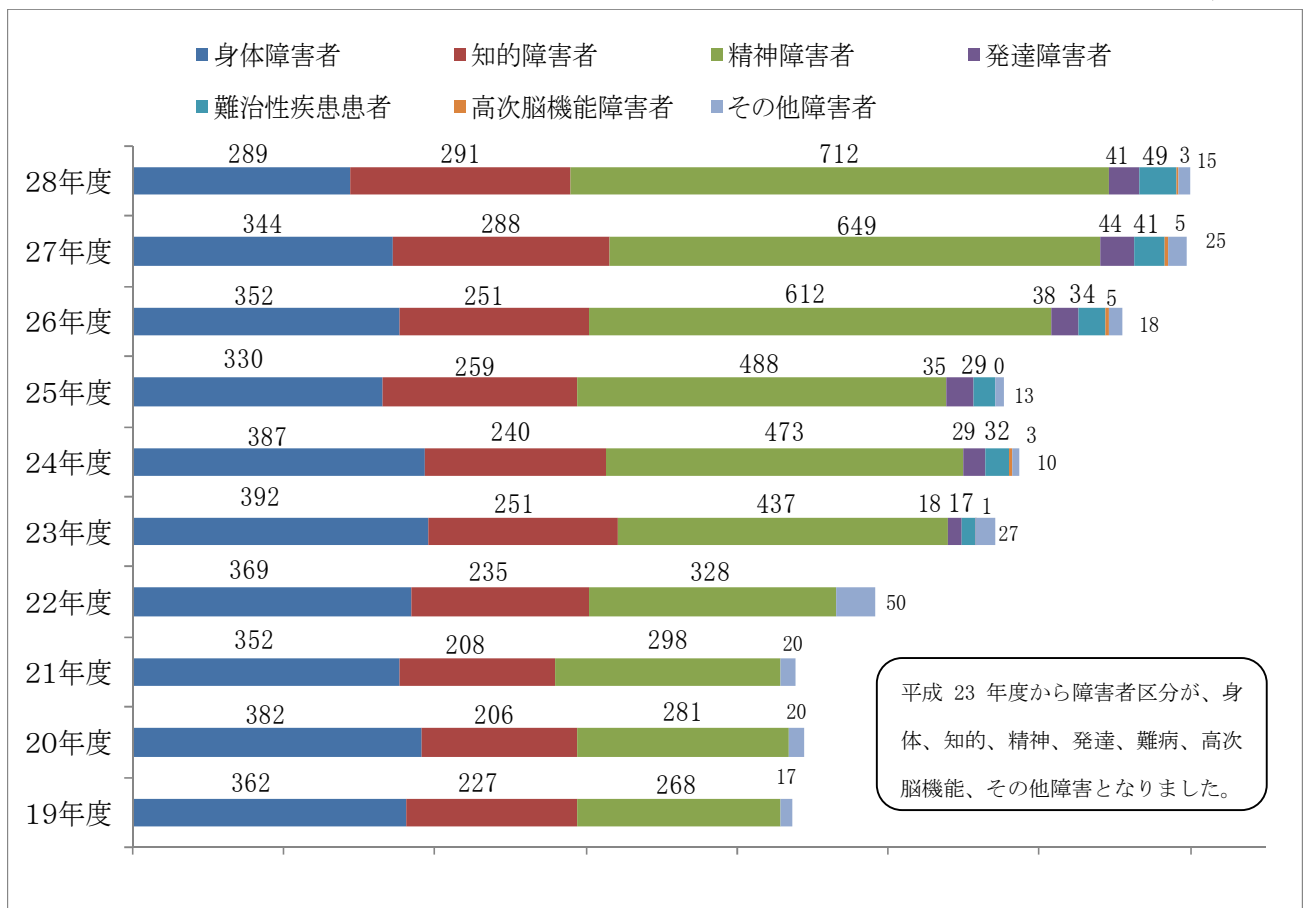
求職申込件数は、前年度比 0.3%増の 1,400 件（前年度 1,396 件）となりました。これを障害種別でみると、身体障害者は 16.0%減の 289 件（同 344 件）、知的障害者は 1.0%増の 291 件（同 288 件）、精神障害者は 9.7%増の 712 件（同 649 件）、発達障害者は 6.8%減の 41 件（同 44 件）、難治性疾患患者は 19.5%増の 49 件（同 41 件）、高次脳機能障害者は 40.0%減の 3 件（同 5 件）となりました。

【表1】 新規求職者の障害別状況 (単位:件:%)

	新規求職申込件数							
	身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	難治性疾患患者	高次脳機能障害者	その他障害者※	
平成28年度	289	291	712	41	49	3	15	
平成27年度	344	288	649	44	41	5	25	
前年度比	▲ 16.0	1.0	9.7	▲ 6.8	19.5	▲ 40.0	▲ 40.0	

※ 「その他障害者」とは、精神 3 疾患（統合失調症、そううつ病、てんかん）以外の精神疾患で精神障害者保健福祉手帳の交付を受けていない者又は身体障害者障害程度等級が 7 級の者等である。【表 2】 同様。

【グラフ1】 新規求職者の障害別状況 (単位:件)



2 就職件数

ハローワークにおける障害者の就職件数は、毎年増加傾向が続いており、平成 28 年度の就職件数をみると、前年度を 7.4% 上回る 941 件（前年度 876 件）となり、12 年連続の増加となって過去最高をさらに更新しました。

これを障害種別でみると、身体障害者が 188 件で前年度比 1.6% 減（前年度 191 件）、知的障害者が 197 件で同 7.7% 増（同 183 件）、精神障害者が 486 件で同 12.8% 増（同 431 件）、発達障害者が 24 件で同 11.1% 減（同 27 件）、難治性疾患患者が前年同数の 33 件となりました。

なかでも精神障害者は、平成 18 年度から精神保健福祉手帳を所持する精神障害者を実雇用率に算定できることとなった以降、毎年増加しています。

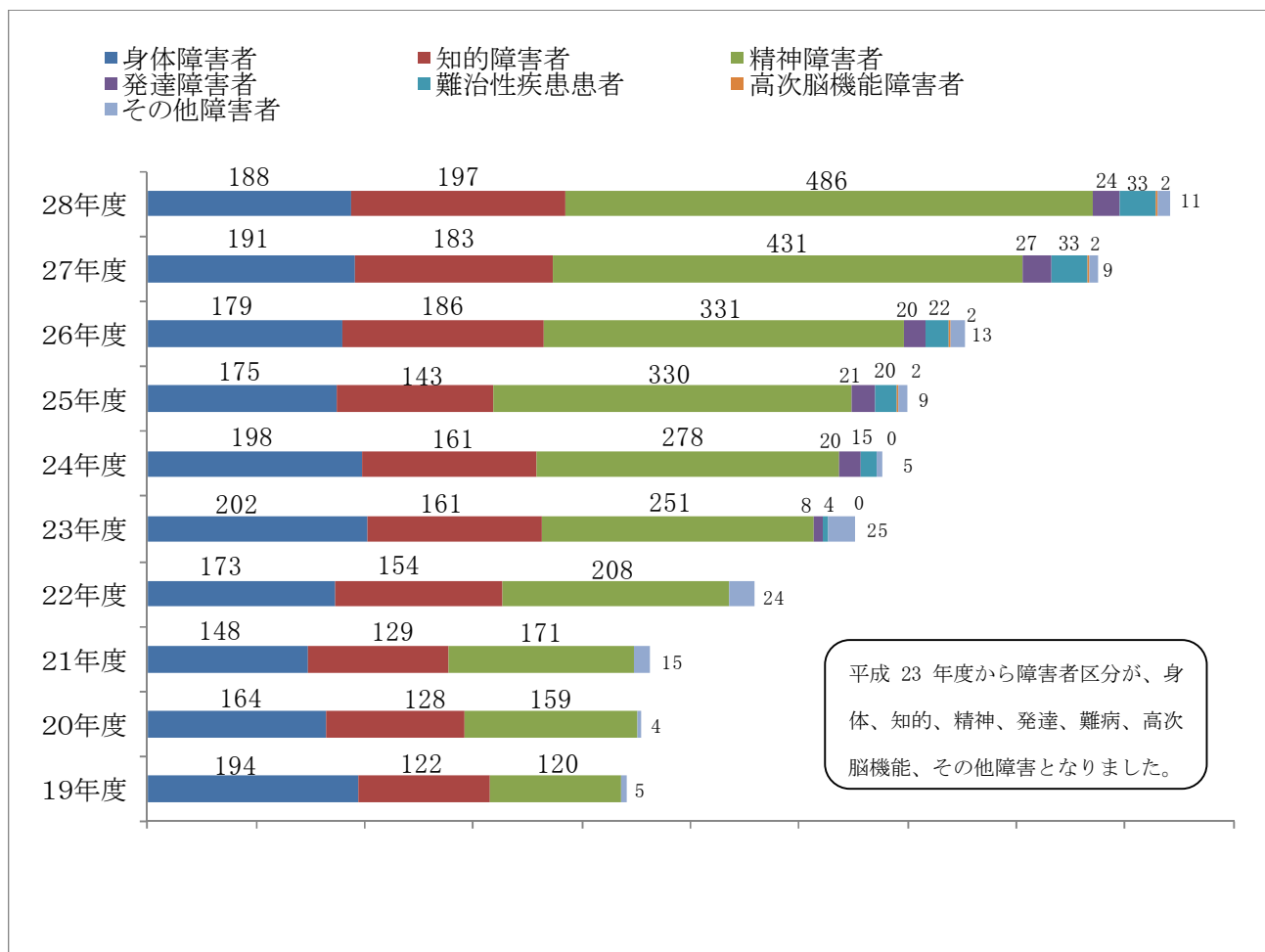
【表2】 就職件数の障害別状況

（単位：件：%）

	就職件数	障害別状況						
		身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害者	難治性疾患患者	高次脳機能障害者	その他障害者※
平成28年度	941	188	197	486	24	33	2	11
平成27年度	876	191	183	431	27	33	2	9
前年度比	7.4	▲ 1.6	7.7	12.8	▲ 11.1	0.0	0.0	22.2

【グラフ2】 就職件数の障害別状況

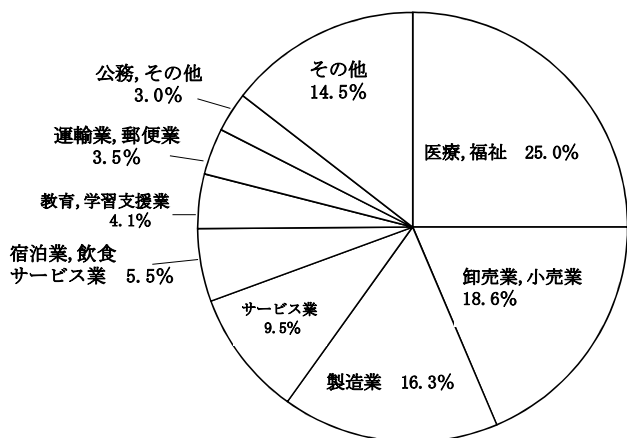
（単位：件）



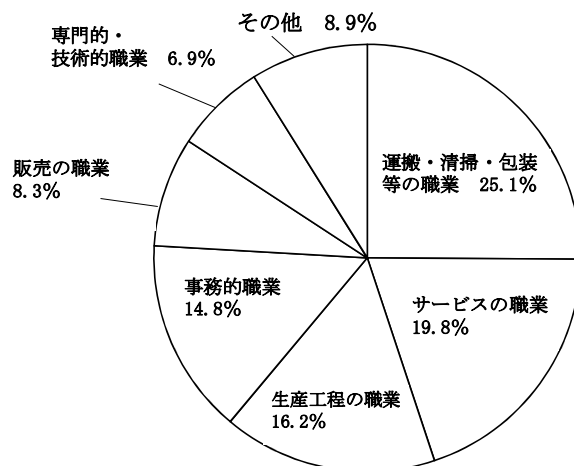
就職件数を産業別で見ると、医療、福祉が最も多く 235 件（25.0%）、次いで卸売業、小売業 175 件（18.6%）、製造業 153 件（16.3%）の順となっています。

職業別では、運搬・清掃・包装等の職業が最も多く 236 件（25.1%）、次いでサービスの職業 186 件（19.8%）生産工程の職業 152 件（16.2%）の順となっています。

【グラフ3】産業別就職状況



【グラフ4】職業別就職状況



3 解雇者数

平成 28 年度の解雇者数は 11 人となっており、前年より 4 人増加しました。解雇理由はいずれも事業廃止、縮小によるものとなっています。

【表3】解雇者の状況

(単位:所:%)

	①解雇届提出があった事業所数	②解雇者数	③解雇理由			④障害種別			
			うち派遣	事業廃止	事業縮小	その他	身体	知的	精神
平成28年度	9	11	0	5	6	0	5	4	2
平成27年度	5	7	0	3	2	2	2	4	1
前年度比	80.0	57.1	0	66.7	200.0	▲ 100.0	150.0	0.0	100.0

【グラフ5】障害者解雇者数の推移

(単位:人)

